

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和5年1月(着任2年0ヶ月)
主な活動	1. 新茶シーズンに向けた人材確保説明会開催に想定を超える反響！ 2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談 3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

1. 新茶シーズンに向けた人材確保説明会開催に想定を超える反響！



写真:1月下旬 繁忙期の人材確保に向けた説明会会場にて

知覧茶のブランディングに向けた発信業務、イベント企画等周りにキラキラした印象を与える活動を中心に例月報告しておりましたが、常にその裏では、現場の最重要課題解決に向けた全くキラキラしない取組も進めております。今月は、そんな舞台裏での活動の一つである、「新茶最盛期の人材確保」に向け進行中の取組を報告いたします。

地域おこし協力隊活動報告書

コロナ禍での生活が始まった数年前より、水面下で熱意のある人材派遣会社のご担当者と打ち合わせを続け、当月ようやく知覧茶生産者への周知と説明会を実施できました。

知覧茶の生産者、茶工場数は、全国の茶産地の中でもボリュームがあり、生産サイドが希望する「雇用人数」「従事日数」「コスト」等の条件を、数年に渡り現地調査いただいたことが身を結び、雇用説明会という初の試みながら、40茶工場を超える説明会へのご参加をいただきました。会場は満席＋急遽予備の席を作るほど需要が高く、ことの重要性を再確認したところです。

こちらの報告書を読んでいただいている多くの方々がご存知の通り、当市に限らず日本全体で一次産業における「人手不足」「人材確保」への課題が例年あがっております。

当市も例外なく、鹿児島県内でもトップを走るほど一次産業に従事している割合の多い市町村です。

行政脳が先行してしまうと、どうしても各課/各事業/年度/予算単位等、綺麗に仕切られた中での縦割りな施策となりがちで、柔軟な動きが鈍化する傾向にあります。

私の考えとしては、「知覧茶」「観光」「移住」「定住」「雇用確保」「市民の充実」「子育て」.....等の課題は非常に密接しており、今回の人材確保に向けた取組も茶にとどまらず、人材が移住することによる基幹産業の活性化、住民票を当市にうつす事による人口増加、当市の認知度向上...というような、各方向へ派生をする良いきっかけになると確信しております。

2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談



写真:お茶のふれあい事業@川辺小学校

地域おこし協力隊活動報告書

当月下旬、南九州市内の小中学校を訪問し、地元の知覧茶を知っていただくお茶のふれあい事業にて、川辺小学校を訪問しました。

今回は、川辺で知覧茶をつくられている女性部の方々が講師となり、美味しいお茶の淹れ方などをグループワーク形式で取り組んでいました。「家に帰ったら、家族に淹れて飲んでもらいたい」といった嬉しいコメントも出ていました。

別件で、数ヶ月前から企業と打ち合わせを重ねている春先の福岡でのPRイベントや、海外輸出に向けた知覧茶の新たな商品企画商談など、対面でやりとりができるようになった今、仕込みと実行を同時進行にて活発に進めております。

3. 地域を超えた情報交流への注力、その他



写真：10年に1度と言われた寒波がきた日の雪化粧した茶畑（高塚丘より撮影）

お茶に関するSNS発信を継続していますが、当月下旬にきた寒波の影響で、滅多に見ることのない雪を被った知覧茶畑の様子を発信したところ、全国から非常に多くの反響をいただきました。私も南九州市に移住して数年が経ち、他にはない茶畑の光景が、いつの間にか「日常」の当たり前になりつつあります。そんな今、もう一度「非日常」としての視点から、移住当初の感覚でPR発信をしていきたいとふと感じたところです。

嬉しいことに、管理しているSNSでの投稿やECサイトに掲載の情報を見た県内外のテレビ局 / インフルエンサーから、お茶に関するお問い合わせをいただく機会が増えており、少しずつではありますが、効果が出始めているのかなと体感するようになってきています。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。



南九州市
Minamikyushu City